

平成27年9月15日

那須烏山市議会議長 佐藤昇市様

文教福祉常任委員会委員長 沼田邦彦

決算審査結果報告書

本委員会に平成27年9月7日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

記

- 1 審査期日 平成27年9月8日（火）及び9日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第2委員会室
- 3 出席委員 沼田邦彦、滝口貴史、矢板清枝、樋山隆四郎、中山五男、小森幸雄
- 4 説明のための出席者
市民課長 佐藤加代子、福祉事務所長兼健康福祉課長 網野榮、こども課長 齋藤進、学校教育課長 岩附利克、生涯学習課長 佐藤新一、文化振興課長 両方裕、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課の平成26年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・診療所は疾病等の診療行為にとどまることなく、地域との交流を積極的に行い、地域住民の健康増進維持の推進をはかり、信頼関係をより一層深めるよう努力された。

健康福祉課

- ・ふれあいの里事業は、高齢者の生きがい、地域との交流の場となっており、効果をあげている。今後とも介護給付の抑制、地域の見守り・支えあい体制の強化につながるよう進められたい。
- ・健康づくり事業では、市民の健康維持、生活習慣病予防に努めるとともに、医療費の削減、介護給付の抑制に効果が得られるようさらなる努力をされたい。

こども課

- ・烏山放課後児童クラブは、未耐震であるこども館の使用の危険性を以前から指摘しているところであるが、関係機関との調整が進まず実施会場を変更できない状態が続いている。子どもたちの安心、安全を第一に考え、早急に対処されたい。
- ・収入未済の保育料の滞納繰越額は縮小傾向にはあるが、依然として多額の未納がある。滞納整理に重点を置き、さらなる収納対策を推進されたい。

生涯学習課

- ・旧南那須武道館は現在も毎年地代の負担が発生している。速やかに解体し、跡地の利活用についてはスピード感を持ちつつも、後年度に支障を残さないよう慎重に検討されたい。
- ・若者の交流を目的としたふれあい交流事業は一定の成果があり、期待できる事業である。今後もメディア、事業所及び関係団体等と連携し、市の人口減抑制に効果をあげられるよう努力されたい。

文化振興課

- ・「烏山の山あげ行事」のユネスコ無形文化遺産登録に向け、引続き全庁体制のもと、効率的かつ効果的な事業を推進するとともに、当該行事の安定した開催に向け、関係団体等との調整、連携等を図られたい。